

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

ともに考え、ともに働き、ともに栄えよう。世界の食の幸せに貢献する。

ROE
9.48%

② 中長期の経営戦略

1. コーヒー・茶類事業

コーヒー・茶類の輸入・加工・販売を通じて1杯の幸せを提供。生産国とのパートナーシップで雇用や技術向上に貢献し、サステナブルコーヒーに対応。

3. 農産事業

安全安心かつサステナブルな農産物で世界のステークホルダーの幸せに貢献。海外・国内の生鮮野菜と加工野菜の安定供給、循環型農業推進。

2. 食品事業

業務用・中食向け食材の販売で食の豊かさを支援。健康対応・共働き世帯向け・個食対応・調理簡便化商品など多様なニーズに応える。

4. 海外事業

日本の文化と技術を食を通じて世界に発信。2024年農林水産物・食品輸出額は過去最高の1兆5,073億円。海外グループ会社とのシナジー活用。

③ 対処すべき課題

① コーヒー・茶類事業の課題

- ・国際コーヒー相場の高騰が記録的水準。業務用分野で人手不足課題が顕著。
- ・サステナブルコーヒーや健康志向対応の加速。焙煎技術のGHG削減イノベーション対応。

② 食品事業の課題

- ・物流業界2024年問題以降の慣性的人材不足。国内人口減少・高齢化による長期的市場縮小予測。
- ・健康訴求・小容量・食べ切りタイプ・調理簡便化など多様化するニーズへの先回り対応が必須。

③ 農産・競争環境の課題

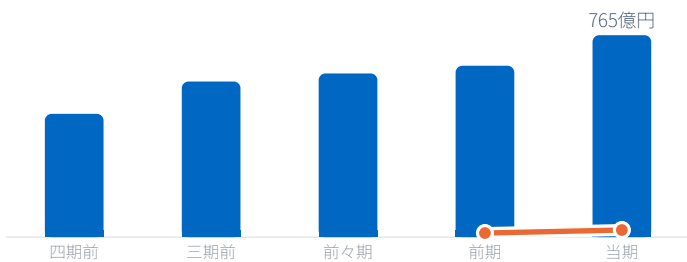
- ・気候変動による異常気象と自然災害で国産農産物の豊凶差が拡大。国内人手不足深刻化。
- ・新規参入・川上川下参入が容易だが、専門知識・ノウハウ・信頼関係で競争優位を維持。

面接で使えるポイント

- ・1906年創業で業歴を重ねた当社が永く続く会社へ向け、6つの必要条件を規定し実行中。
- ・コーヒー・茶類・食品・農産・海外事業の4事業で、サステナブル対応と社会課題解決を推進。
- ・2024年農林水産物・食品輸出額は過去最高1兆5,073億円。成長する世界日本食市場で専門性を活かす。

証券コード 2750

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

神戸市に本社を置く食品専門商社であり、スタンダード市場に上場している企業

主力事業・セグメント

・卸売業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
765億円営業利益率
3.5%財務健康度
25点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 47.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
670万円

卸売業内 153位/282社

平均年齢
43.2歳

卸売業内 108位/283社

平均勤続
12.2年

卸売業内 183位/282社

女性管理職
22.3%

卸売業内 17位/209社

男性育休
100.0%

卸売業内 15位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 石光商事(株)【2750】：配当情報

